
WP講座 シンプルスタイリング編

シンプルなテーマで素早く、美しくサイトを作成する

バージョン 1.0 - 2017年3月31日



目次

レジュメの使い方	4
ワークショップ概要	6
準備するもの	6
1. イントロ	8
2. ウォーミングアップ	10
3. デザインの4原則	12
4. WordPressでデザイン 4 原則	14
5. 装飾機能を手にいれる	16
6. 作品作り	18
7. まとめ	20

レジュメの使い方

講座を研究する最終目的は、「頭の中で、講座の進行と学習者の状態の変化」をありありとシミュレーションできるようになることです。それぞれのワークを通じて、学習者の内面がどのような方向に変わり、どんな気づきが起こり、徐々に「高次の学習」が発生している様子を描けるようになることが大切です。

そのためには、以下のように研究することを試してみてください。もちろん、講座研究をすること自体を「探求」して「改善」することが大切です。

以下、例を示します。

(1) 実際に講座を体験する

百聞は一見に如かずというように、ご自身が開催しようと思っている講座を体験することが最も有益です。全国で開かれている講座に参加したり、撮影会に参加するなどしましょう。またファシリテーター同士の勉強会などに参加して、体験することもできます。

(2) 講座解説オーディオを聞く

講座の全体像、各ワークの狙い、役割、次との関連を開設した「講座解説オーディオ」を聞きましょう。実際の体験を振り返り、設計意図を知ることで「講座進行」と「学習者の変化」を関連づけられるようになります。

このオーディオを聴きながら、レジュメにメモを取りましょう。

(3) 講座の様子ビデオを見る

講座の全体像、各ワークの役割などを把握したら、実際の進行について研究しましょう。ファシリテーターは、思った以上に説明が少ないです。一方で、要所要所で、レジュメにはないアレンジや説明を加えているシーンがあります。

なぜ、このような行動をとったのか？を分析することで、より高度な「シミュレーション」ができるようになります。

(4) 講座のサブファシリテーターをする

講座を体験するだけでなく、ベテランファシリテーターの講座のヘルプに入ることも非常に役立ちます。サブファシリテーターとして講座に参加することで、客観的に講座の進行を観察し、学習者の変化を詳細にみることができます。

(5) テスト講座を開く

いきなり本番でも良いですが、できれば練習のためにテスト講座を開きましょう。常連の方を読んだり、仲間を呼んだり、あるいはファシリテーター限定の勉強会を兼ねて講座を開きましょう。講座を開くときは、必ず「FILMシート」を書いて、自己分析しましょう。

(6) 本番講座を開く

万全の準備を行ったら本番講座を開きましょう。本番は、ファシリテーターマインドセットをしっかりと復習し、楽しむことが大切です。また、ゼンログ状態を意識することで、効果的にファシリテーションできるようになります。

ワークショップ概要

このワークショップを受講すると、素早く、シンプルで美しいサイトが作成できるようになる。デザインの4原則を学び、その視点を持ってWebサイトをデザインしていく。原則を守りながら装飾することで、先に上述のようなサイトを作成することができる。

また、Bootstrap ShortcodesとShortcodes Ultimateの2つのプラグインを入れることで、できることは格段に増えるが、やみくもに機能を使うのではなく、効果的に機能を使って、Webサイトをデザインすることが学習者に求められる。

準備するもの

「事前にWordPressをインストールしておく」

この講座では、インストールやWordPressの基礎は触れない。受講済みを対象とする。家で、MAMPをセットアップし、講座で使うテーマを準備した状態で受講をしてもらう。指示書を事前に渡して、セットアップを完了してもらう。自信がない人は、早めに来てもらって講座前に、セットアップをしておく

「パソコン」

デザインの4原則の調査時、WordPressの編集をするときなどに使う。

「紙とペン」

紙とペンを用意しておくともックアップを描いてからWebサイトを作ろうとする学習者が出てくるかもしれない。用意しておく、メモなど取るなど何かと便利。

「本やグッズなど」

デザインの4原則では、身の回りの本やグッズを使って説明するワークがあるため、そこで使う。

「レイアウトデザインなどの本」

デザインの4原則について調査するときに、実例が載っている本などがあると調査しやすい。また、例などから学ぶこともできる。

環境づくり


インターネット環境を用意しておくこと。

机は、パソコンや資料を置いてもストレスなく作業できるくらいの大きさが良い。

事前の準備

WordPressの立ち上げを終えている必要がある。加えて、WordPressの基本の要素(固定ページや投稿など)を押さえていることを前提としている。そのため、あらかじめ予習教材などで、学んでおいてもらうなどするのが良いだろう。

1. イントロ

 0:00 ~ 0:03 (3分)

ワークの狙い・設計

- 講座終了後の理想の状態をイメージすることで、やる気を引き出す
- ワクワクさせることで、好奇心、自主性を引き出す
- 言うよりも、見せよ

ワークの進行

(ここに画像で必要な資料を貼り付ける)

期待を高めて、リズムを作り出す

- 講座の開催を宣言する
- 3時間後に、どんなことができるようになるか?をイメージさせる
 - 例) シンプルスタイリングで作ったサイトを見せるなど

補足

できるだけ簡潔に、言語を使わず伝える

2.ウォーミングアップ

🕒 0:03 ~ 0:10 (7分)

▶ ワークの狙い・設計

- Good & New はオーソドックスだが、大きく雰囲気が変わる
- お互いに名前を紹介し、拍手し合うことで安心空間が作れる
- 次のワークでは、協力して作業をするので、顔なじみになってもらう

🔄 ワークの進行

(1) Good & New

- 良くて新しいことを発表して拍手をしてもらう
- 最初の一周は、名前を言う
- チームに分けて、2分間でぐるぐる回す

補足

Good & New の説明は簡潔に。デモンストレーションで、理解してもらおう。慣れていない人がいても、無理やりなんども繰り返すことでなれるので、説明しすぎず、実際にやってもらおう。

3. デザインの4原則

0:10 ~ 0:35 (25分)

ワークの狙い・設計

- デザインの4原則を素早く学習すること
- デザインの4原則を具体例を通じて理解すること
- 身の回りにある素材から学習ができることに気づきを得てもらう
- 次のワークでデザイン4原則は使うので、しっかりと学んでもらう

ワークの進行



(1) 得られる結果を明確に伝える

- このワークは、手順が複雑なので先にステップを説明しても覚えられない
- そこで「結果だけをはっきり伝えて」、ワークを進めながら説明をする
- 得られる結果
 - 短時間で、プロのデザイナーがみんな持って駆使している能力を身につけられる
 - デザインの4原則を身につけられる
 - 早速やってみよう！

(2) デザインの4原則について調査する (20min)

- このあとで人に教えるので、教えるつもりで調査するように伝えることが重要
- 人に教えるつもりで、調査すると調べ方が大きく変わる
- どう教えるかは、伝えなくていい
- 調査する方法は、資料を熟読する、インターネットで調べるなど任せる
- 約15分

(3) 即興で説明するワーク (8min)

- ペアになってもらう (ランダムに選ぶ)
- ワークの手順 (言葉で説明するのではなく、デモンストレーションする)
 - 説明を受ける方が、デザインされてそうなものを渡す (身の回りにある本、製品、グッズ、チラシなど)
 - 渡されたものをその場で、デザインの4原則で説明する
 - ある程度、説明されたら、すぐに次のグッズを渡す
 - 制限時間まで、どんどん説明をする
- 目の前でやって見せながら、説明をすると伝わりやすい
- 実際に行ってもらおう (制限時間は、2分ずつ)
- 制限時間が来たら、しっかり拍手をしよう

(4) 振り返り (3min)

- 面白かったものについて、感想をもらう (2、3人)
- 今回の学び方について感想を求める (2、3人でOK)
- 学び方に注意を払ってもらう

補足

ファシリテーターは、デモで示せるように練習をしておくことが大切。

4. WordPressでデザイン4原則

🕒 0:35 ~ 1:15 (40分)

▶ ワークの狙い・設計

- デザインの4原則をWordPressのページを作るときに意識してもらおう
- 単にデモを真似するのではなく、独自のデザイン4原則のアイデアを出して、検証するように学んでもらうことが大切
- 安心感を与えるために、「デモ」を行って、一連の行動のイメージを与える

🔄 ワークの進行



ダミーテキスト、ダミー画像の場所 <https://wpa.toiee.jp/dummy/>

(1) ワークの説明、デモをする (10min)

- やること
 - ダミーテキスト、ダミー画像を使って「デザインの4原則」を使ってWordPressのサイトを作ると、どうなるか？を実験してみること
- 伝え方
 - デザインの4原則を意識して、サイトを作ると「素早く」「シンプルに」「美しく」作ることができる
 - 本当か検証してみましょう！
- デモンストレーションを行う

-
- 全員を巻き込んで、1 ページだけ作ってみる
 - ダミーテキスト、画像をダウンロードして、貼り付けて
 - デザインの4原則を使うなら、どうしたらいいか？を質問する
 - アイデアをもらって、実際に実行してみると、美しくなることをデモする

(2) 各自で実験する (20min)

- デザインの4原則を、いろんなアイデアを出して適用
- ダミーテキスト、ダミー画像を使って装飾する
- シンプルで、美しく作る方法を研究してもらうように伝える
- 探求させる
 - デザインの4原則に沿ったアイデアを出すようにファシリテートする
 - どうやったら美しくなるか？シンプルに作れるか？と質問して回る
 - 実験をさせてるように促す
 - ×デモをなぞるような学び方

(3) 発表 (10min)

- 各チームに工夫点を発表させる

i 補足

ペアか、3人チームで取り組んでもらう。操作は、交代で行うように指示する。よくわかっている人がいたら、教える役に任命する。

デモはしっかり練習しておくこと

休憩

5. 装飾機能を手にいれる

🕒 1:25 ~ 2:05 (40分)

▶ ワークの狙い・設計

- WordPress標準の装飾機能や、Bootstrap Shortcode、Shortcode Ultimates プラグインによってできる無数の装飾機能を探求する
- たくさんの装飾（武器）を手にいれた上で、次のワークでは、それをやたら使うのではなく、適度に使うことを学ぶ。そのための準備をする
- このワークでは、ついでにWordPressの操作にも慣れてもらう

🔄 ワークの進行



(1) 説明 (10min)

- Bootstrap Shortcode、Shortcode Ultimates、WP標準の装飾を駆使すると、いろんな表現ができる。どんなことができるかを探求してもらう
- 探求の方法をデモする
 - 装飾ボタンを押してみる。おまじないが入る
 - どうなるかは、プレビューを押すとみることができる
 - なるほど、こういうことができるのか
 - 実験をして、理解する様子を会場と一緒にやる

-
- チームに分かれて、いろいろ探求してみよう！

(2) 探求は20min

- 探求は20min用意するが、途中で介入する
- 10min たったところで、一旦止めて質問をする
 - ここまでの探求の仕方を振り返ってもらう
 - 良い探求、改善点、この後10分をどう過ごすか？
- 探求を続ける

(3) 発表 (10min)

- 「これは、結構すごいぞ」という装飾を発表する
- その発表に対して「どうやって探求したか」「見つけたのか」を質問し、学び方に意識を持たせる

補足

発表、探求が盛り上がったなら時間を延長しても良い。後のワークは、時間に余裕を持たせている。

テーマにもよりますが、もし必要そうであれば、いま固定ページの画面で、「固定ページの属性」を「テンプレート」を変更しましょう。

6. 作品作り

🕒 2:05 ~ 2:35 (30分)

▶ ワークの狙い・設計

- 学んだこと（デザインの4原則、豊富な装飾機能）を統合して、何らかの発表作品を作ってもらおう
- 効果的に装飾を使うとは、こうやるんだぞ！という見本を作ることで、様々なことを同時に学ぶ
- 発表する、人に教える前提で取り組んでもらうことで、効果的な学習をもたらす

🔄 ワークの進行



(1) 説明

- 以下の3つのポイントを伝えて、自由時間を与える
 - 豊富な装飾機能を手にいれたが、それを効果的に使う方法を探求する
 - どう使えば良いか探求して、自分たちなりの方法論を作る
 - その方法論、ノウハウを発表してもらおう
- 時間の許す限り、探求をしてもらう


(2) 探求

- 探求が始まったら、チームを回ってファシリテーションする
- 時々「何かノウハウは見つかったか？」と尋ねたりする
- 考えすぎているチームがいたら「期待する結果」「そのためのプロセス」「どうしてそう思ったか？」を聞いて、行動を促す
- ブリーフィングをさせて、学習状態を改善するなど介入をする（必要そうなら）

補足

講座の進行具合によって、このワークの時間を伸ばしたり、短くしたりして調整してください。次は「発表」で講座は終了です。

7. まとめ

 2:35 ~ 2:50 (15分)

ワークの狙い・設計

- 独自のノウハウ、装飾の工夫、注意点を発表することで、理解を深める
- 他者のノウハウを聞くことで、自分のノウハウをより深く理解する
- 講座全体のまとめとする

ワークの進行

(ここに画像で必要な資料を貼り付ける)

(1) 発表する

- チームごとに、ノウハウを発表してもらう
- 特に面白いものがあれば、「どうやって見つけたか? (学習に注意を向ける)」と質問する
- 順に発表してもらう

(2) フリートーク

- 発表が終わったら、チームごとにフリートークで「今日の学んだこと」を話してもらう
- ワイワイ話してもらう

(3) まとめ

- 今日学んだことを2、3人に発表してもらう

補足

ファシリテーターが、講釈をたれるよりも、参加者に話をさせて、参加者の学びに耳を傾けよう。